

厚生年金基金の財政状況等

(2015(平成27)年度～2019(令和元)年度)

※ 厚生年金基金より提出された2019(令和元)年度の決算書等に基づき、
2020(令和2)年12月時点で集計を行った結果をまとめたものである。

1. 適用、給付等の状況

表 1 基金数、設立事業所数、加入員数

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
基 金 数	256	110	36	10	8
代行型	17	7	1	0	0
(構成割合)	(6.6)	(6.4)	(2.8)	(0.0)	(0.0)
加算型	239	103	35	10	8
(構成割合)	(93.4)	(93.6)	(97.2)	(100.0)	(100.0)
設立事業所数	52,243	21,571	7,720	1,750	1,530
(増減)	▲ 31,783	▲ 30,672	▲ 13,851	▲ 5,970	▲ 220
加入員数(千人)	2,539	1,401	571	173	158
(増減)	▲ 1,068	▲ 1,138	▲ 830	▲ 398	▲ 15
男	1,697	876	334	107	94
女	842	525	238	66	64

表 2 平均標準給与

(円)

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
報酬月額	331,421	333,890	332,475	336,446	336,656
男	367,266	376,341	379,201	387,010	391,214
女	259,136	263,057	266,877	253,965	255,656
賞与(月平均)	70,236	77,240	82,753	95,789	98,581
男	79,311	90,210	97,731	111,326	116,281
女	51,935	55,601	61,726	70,443	72,304

表 3 年金給付等の状況

(1) 年金の受給者数

(人)

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
総数	1, 779, 965	855, 040	363, 928	144, 897	137, 707
代行型	165, 635	85, 151	6, 494	0	0
加算型	1, 614, 330	769, 889	357, 434	144, 897	137, 707

(2) 年金月額、一時金額

(円)

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
平均年金月額	44, 246	50, 180	61, 189	82, 448	83, 779
代行	36, 143	38, 552	42, 334	49, 563	49, 108
上乘せ部分	8, 103	11, 628	18, 855	32, 884	34, 671
平均選択一時金額	1, 401, 913	1, 683, 170	2, 241, 575	3, 102, 440	3, 347, 387
平均脱退一時金額	188, 799	198, 606	206, 285	303, 452	318, 315
平均遺族一時金額	1, 183, 120	1, 469, 248	1, 818, 704	3, 292, 814	3, 327, 241

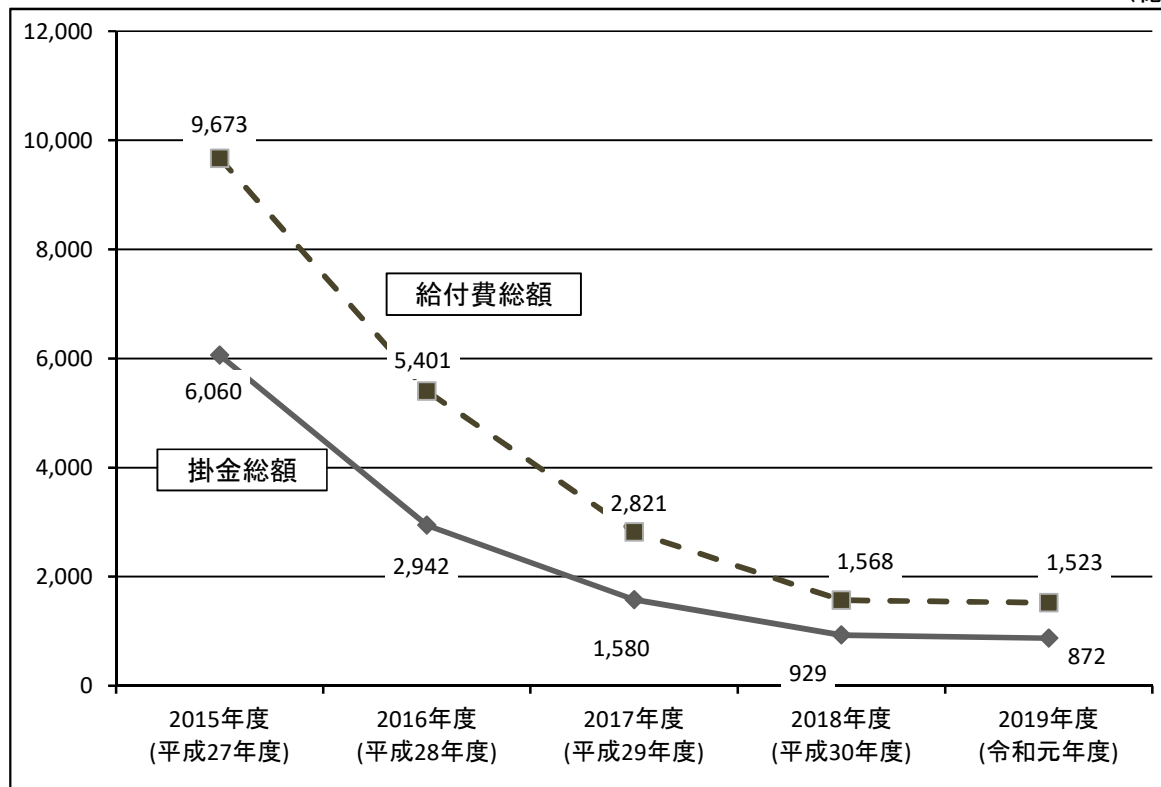
(3) 掛金総額、給付費総額

(億円)

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
基金数(再掲)	256	110	36	10	8
掛金総額	6,060	2,942	1,580	929	872
給付費総額	9,673	5,401	2,821	1,568	1,523
年金給付	8,961	4,993	2,579	1,374	1,342
一時金給付	712	408	242	195	181

(参考) 掛金総額と給付費総額の推移

(億円)

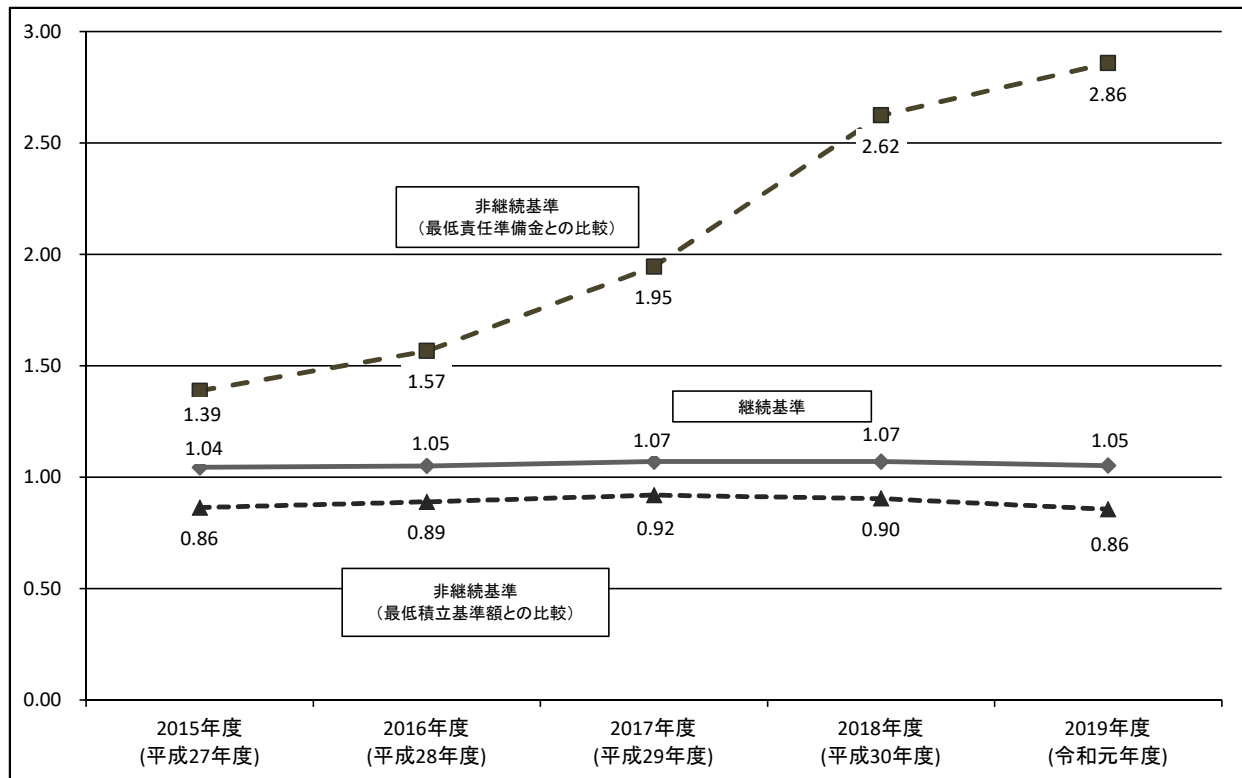


2. 積立の状況

表4 総括表

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
基金数	256	110	36	10	8
純資産額 (①)	13.7兆円	8.4兆円	4.5兆円	2.3兆円	2.1兆円
責任準備金 (②)	13.1兆円	8.0兆円	4.2兆円	2.1兆円	2.0兆円
積立水準 (①/②)	1.04	1.05	1.07	1.07	1.05
最低責任準備金 (③) (※1)	9.9兆円	5.4兆円	2.3兆円	0.9兆円	0.7兆円
積立水準 (①/③)	1.39	1.57	1.95	2.62	2.86
最低積立基準額 (④) (※2)	15.9兆円	9.5兆円	4.9兆円	2.5兆円	2.4兆円
積立水準 (①/④)	0.86	0.89	0.92	0.90	0.86

(参考) 積立水準の推移



(※1) 「最低責任準備金」とは、代行部分（厚生年金の給付の一部を代行する部分）の給付に必要な額であり、現時点で解散する場合に最低限保有していなければならない額のこと。

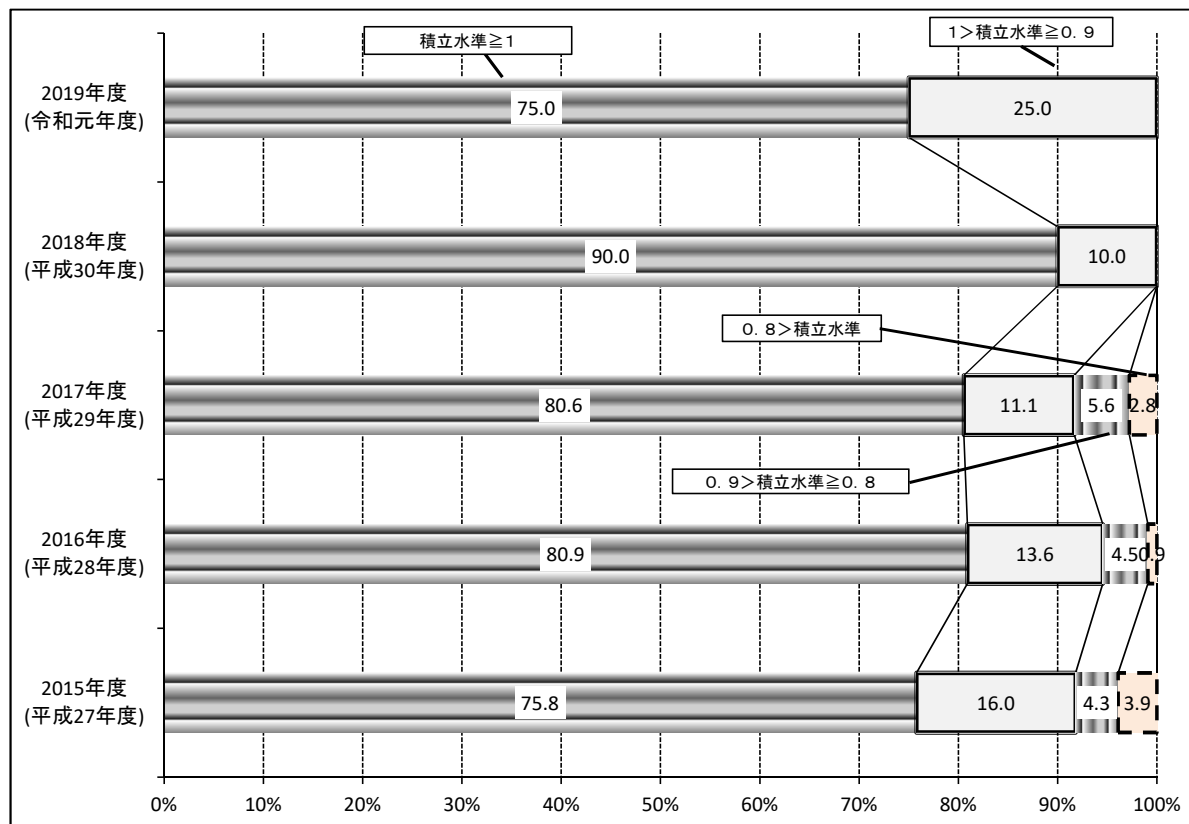
(※2) 「最低積立基準額」とは、最低責任準備金に現時点までの加入員期間の上乗せ給付を保証するために必要な額を加えた額のこと。

表5 積立の状況

(1) 継続基準

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
純資産額が責任準備金以上である基金 (①)	194	89	29	9	6
純資産額が責任準備金未満である基金 (②)	62	21	7	1	2
純資産額が責任準備金の90%以上であるもの	41	15	4	1	2
純資産額が責任準備金の80%以上90%未満であるもの	11	5	2	0	0
純資産額が責任準備金の80%未満であるもの	10	1	1	0	0
上記①の基金の剰余額 (合計)	8,240億円	4,787億円	3,202億円	1,488億円	1,038億円
上記②の基金の不足額 (合計)	2,493億円	730億円	248億円	10億円	5億円

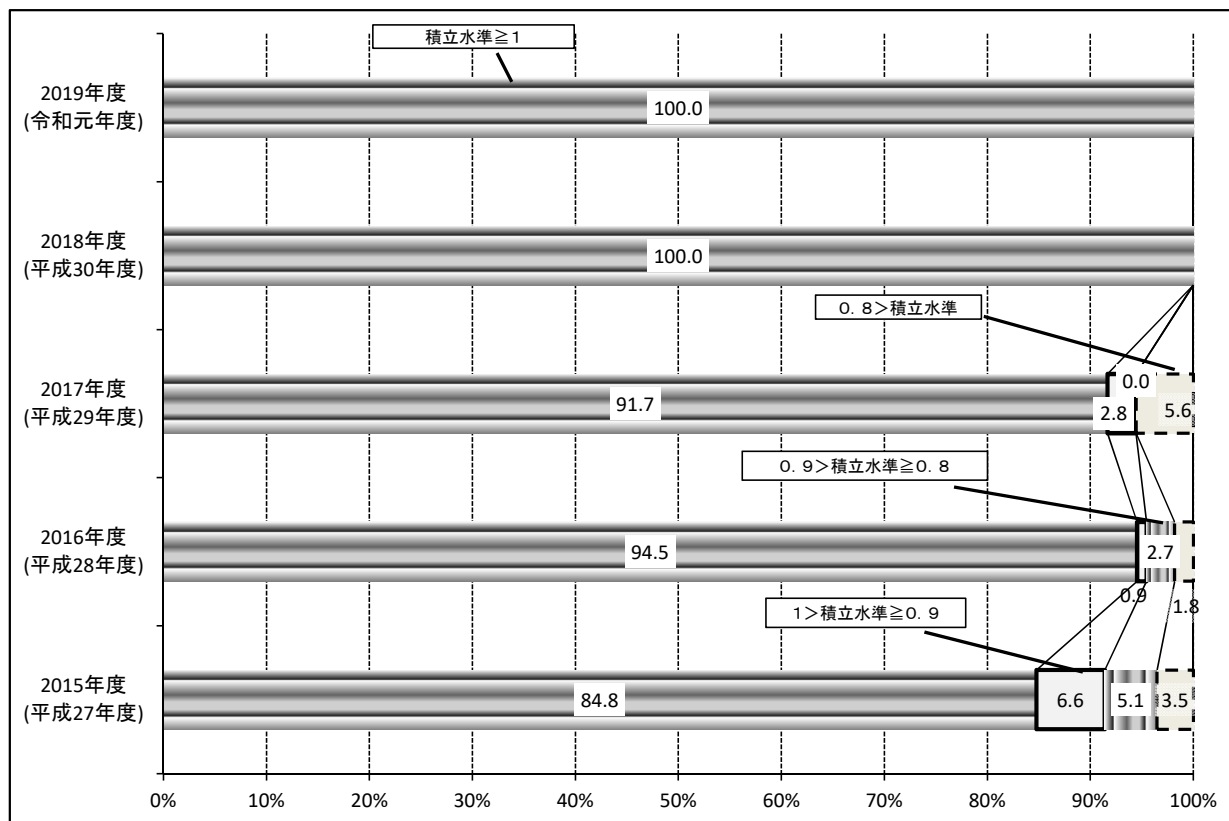
(参考) 積立水準 (純資産額/責任準備金) ごとの基金の割合



(2) 非継続基準（最低責任準備金との比較）

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
純資産額が最低責任準備金以上である基金 (①)	217	104	33	10	8
純資産額が最低責任準備金未満である基金 (②)	39	6	3	0	0
純資産額が最低責任準備金の90%以上であるもの	17	1	1	0	0
純資産額が最低責任準備金の80%以上90%未満であるもの	13	3	0	0	0
純資産額が最低責任準備金の80%未満であるもの	9	2	2	0	0
上記①の基金の剰余額 (合計)	3兆9,607億円	3兆0,849億円	2兆2,000億円	1兆4,018億円	1兆3,594億円
上記②の基金の不足額 (合計)	1,372億円	285億円	176億円	0億円	0億円

(参考) 積立水準（純資産額／最低責任準備金）ごとの基金の割合



(3) 非継続基準（最低積立基準額との比較）

区 分	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
純資産額が最低積立基準額以上である基金 (①)	49	32	12	2	1
純資産額が最低積立基準額未満である基金 (②)	207	78	24	8	7
純資産額が最低積立基準額の90%以上であるもの	72	28	11	3	2
純資産額が最低積立基準額の80%以上90%未満であるもの	65	30	9	4	3
純資産額が最低積立基準額の80%未満であるもの	70	20	4	1	2
上記①の基金の剰余額 (合計)	1,174億円	811億円	571億円	26億円	2億円
上記②の基金の不足額 (合計)	2兆2,845億円	1兆1,386億円	4,512億円	2,433億円	3,519億円

(参考) 積立水準（純資産額／最低積立基準額）ごとの基金の割合

